

あけまして
おめでと
うござい
ます



SKJ通信

税理士法人 SKJ

〒350-1306
埼玉県狭山市富士見2-4-5
TEL 04-2957-5777
FAX 04-2950-1033

1月

(睦月) JANUARY

1日・元日 13日・成人の日

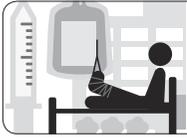
日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	・

ワンポイント 青色申告特別控除の見直し

令和2年分以後の所得税から、青色申告特別控除のうち、正規の簿記の原則で記帳している場合の控除額65万円が55万円に引き下げられました。ただし、自宅等からのe-Taxによる申告（電子申告）又は電子帳簿保存をしている場合は、引き続き控除額が65万円となります。なお、10万円控除は変更ありません。

1月の税務と労務

- 国 税** / 給与所得者の扶養控除等申告書の提出
本年最初の給与支払日の前日
- 国 税** / 報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出
1月31日
- 国 税** / 源泉徴収票の交付、提出
1月31日
- 国 税** / 12月分源泉所得税の納付
1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7~12月分は1月20日)
- 国 税** / 11月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)
1月31日
- 国 税** / 5月決算法人の中間申告
1月31日
- 国 税** / 2月、5月、8月決算法人の消費税の中間申告
(年3回の場合)
1月31日
- 地方税** / 固定資産税の償却資産に関する申告
1月31日
- 地方税** / 給与支払報告書の提出
1月31日
- 労 務** / 労働保険料の納付(第3期分)
1月31日
(労働保険事務組合委託の場合2月14日まで)



高齢化社会の労災



高齢者雇用

日本では、平成6年に60歳未満を定年とすることを禁止する法律が施行されたから、事業主が従業員の定年を定める場合には、定年年齢を60歳以上としなければなりません。そして平成25年4月に、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部改正法が施行され、定年年齢を65歳未満に定めている事業主については、「65歳までの継続雇用制度の導入」または「定年の廃止」のいずれかを選択しなければならなくなりました。継続雇用制度とは、雇用している高年齢者本人が希望すれば、定年後もその人を引き続き雇用する制度です。定年を65歳に引き上げることが義務化されたわけではありませんが、希望者全員の雇用を継続しなければなりません。

労災の高齢化

継続雇用制度が導入されたことで、高年齢労働者の労働災害も増加しています。

厚生労働省の「労働者死傷病報告」によると、平成27年における休業4日以上の労働災害の発生件数は約11万件で、そのうち5万件以上を50歳以上の労働者が占めていました。60歳以上に限ってみると、平成27年度は約2万7千件発生

し、平成元年と比べて件数は減少していません。一方、労働災害全体の発生件数は平成元年と比べると半数に減少していることから、労働災害全体に占める高齢者の割合は増えているといえます。

業種別の労災

厚生労働省は昨年5月に、平成30年の労働災害発生状況を公表しました。これによると、休業4日以上の労働災害の発生件数は約12万7千件で、前年と比較して約6%増加しました。これを業種別にみると、社会福祉施設(9.2%増)や小売業(7.7%増)、陸上貨物運送事業(7.6%増)の増加が目立ちます。労働災害というと建設業や製造業に多いイメージがありますが、近年、介護施設やコンビニなどの小売業で増えているのは、労働者の高齢化が影響しているからといえるでしょう。

事故の型別をみると、転倒(12.4%増)や高所からの墜落・転落(4.2%増)、動作の反動や無理な動作による腰痛(4.8%増)が目立って増えているようです。製造業についての平成25年の調査でも、50歳以上は転倒や墜落・転落の割合が高く、加齢に伴う身体的・精神的機能の低下によって労働災害が発生しやすくなっていることが伺えます。

労災に対する企業の取組

味の素株式会社川崎事業所では、高年齢のパート労働者が工場の生産ラインで重い物を取り扱うことで発生する、転倒や腰痛といった労働災害を防止する対策を実施しています。この工場は冷凍食品を取り扱うので、床に霜が付着したり油や粉などが飛び散ったりして、床が滑りやすくなることが発生の原因でした。そこで、工場内に近赤外線照射装置を取り付けて床に霜が付着しないように改善することや、滑りにくい靴底の靴を採用することなどの対策を講じました。また、滑りやすい床を歩く体験を従業員にさせることで転倒の危険性を実感してもらったり、身体機能低下のセルフチェックを行うといった社員教育も実施しています。

トヨタ自動車では、平成24年時点で60歳以上のライン業務従事者は326人でした。これが10年後には1,500人に達し、その後も増加すると見込んでいます。そこで平成25年度から、「いきいき健康プログラム」を実施しています。

このプログラムは、転倒や腰痛などに特化した高年齢者対策ではなく、工場ラインの業務に従事できる体力レベルを維持することを目的としているところに、特長があります。

健康増進法の改正

平成30年7月に、健康増進法の一部を改正する法律が成立しました。この改正では、望まない受動喫煙を防止するため、多くの人が利用する施設などについて、一定の場所を除いて喫煙を禁止することと、その施設の管理者が喫煙室の設置などを講じることが定められました。特に、健康への影響が大きいと考えられる20歳未満の人や患者などが利用する施設については、より徹底した受動喫煙対策が必要になります。

この法律では、国や地方自治体などが受動喫煙を防止するための措置を推進することや、喫煙者が喫煙をする際に周囲の状況への配慮義務を課すことについては昨年の1月から、学校や病院・児童福祉施設などでは、原則的に敷地内を禁煙とすることが昨年7月から施行されています。そして、今年4月からは、それ以外の施設について、原則的に屋内が禁煙になります。

今年4月からは…

オフィスや商業施設などでは、原則的に屋内では禁煙になります。ただし、一定の条件を満たすことで、屋内に喫煙専用室や加熱式たばこ専用喫煙室を設置することができます。加熱式たばこ専用喫煙室では飲食などを行うことができますが、喫煙専用室では飲食や会議といった喫煙以外の行為を行うことができません。



喫煙専用室や加熱式たばこ専用喫煙室は、出入口の風速を毎秒0.2m以上確保することや、たばこの煙が漏れないように壁や天井などで区画すること、たばこの煙を屋外に排気するなどの措置を講じなければいけません。またこれらの施設の入り口や室内に、指定された標識を掲示する必要があります。もちろん、これらの施設に20歳未満の人を立ち入らせてはいけません。

飲食店の特例

今年4月1日以降に新たに開設する飲食店については、オフィスや商業施設と同様に原則的に屋内は禁煙になります。喫煙専用室や加熱式たばこ専用喫煙室を設置することはできますが、従業員を含めて20歳未満の人を喫煙可能なスペースに立ち入らせることはできません。一方、3月31日以前から営業していた飲食店のうち経営規模の小さいものについては、今回の

改正に対応するには負担が大きいため、経過措置として現状の喫煙ルールを継続することができます。規模の大きさは客席面積と資本金で判断し、客席面積は100㎡以下、会社の資本金は5,000万円以下と定められています。

自治体による違い

自治体によっては、条例を制定して健康増進法よりも規制を厳しくしているところもあります。

例えば東京都では、小学校や保育所の敷地内では屋外であっても喫煙場所を設置することを禁止しています。健康増進法は、学校などの敷地内は禁煙としているものの、屋外に喫煙場所を設置することを認めており、東京都の条例のほうがより厳しいといえます。

事業者への支援

受動喫煙を防止するために喫煙室を設置するなどの対策を講じることが、事業者にとっては負担になります。そこで、対策を実施するために必要な経費のうち一定の基準を満たすものについては、助成金を交付する「受動喫煙防止対策助成金」制度があります。助成金の申請は、所轄の都道府県労働局で受け付けています。

また、認定経営革新等支援機関等による指導に基づいて経営改善設備の取得を行った場合には、法人税や所得税について特別償却や税額控除が受けられます。

おせち料理

昔から、お正月には農耕をつかさどる「年神」が自宅にやってくるとされていました。生活の中心が農耕であった日本では、年神をもてなすことで1年の豊作を祈る風習がありました。「門松」は年神が最初に降り立つ目印、「しめ飾り」は祓い清められた領域、「鏡もち」は年神にお供えする食べ物、という意味があります。おせち料理も、鏡もちと同じように、年神にお供えする料理でした。お供え物のお下がりいただくことを直会（なおらい）といい、神の力をいただくことを意味します。

おせち料理に重箱を使う理由は諸説ありますが、重箱を重ねることが「福を重ねる」や「めでたさが重なる」という意味につながることや、年賀のお客様にふるまいやすいことなどがあります。重箱は、四段重が正式だといわれていますが、最近では二段重や三段重が一般的のようです。各段の料

理の数は、5種や7種、9種にするのが、縁起が良いとされています。

おせち料理には、様々な意味が込められています。例えば「紅白蒲鉾」は、紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表すもので、おせち料理には欠かせません。「栗きんとん」は、黄金色に輝く財宝に似ていることや、「勝ち栗」が縁起の良いものとされていることから、豊かな1年を願う料理とされています。

最近では、様々な通販サイトが、おせち料理の早割予約を行っています。全国の有名な料亭のおせち料理を取り扱うサイトや、ローストビーフや生ハム、パイ包みなどが入った洋風のおせち料理を販売しているサイトもあります。また、おせち料理のレシピサイトでは、重箱に詰めるのではなく、お皿に盛りつけることや彩りに気を付けることで見栄えが華やかになることが紹介されています。おせちも「インスタ映え」を気にする時代なのでしょう。

まるみえアグリ

農林水産省では、農業者が自由に経営展開できる環境を整備し、農業者の所得向上を図る取り組みを行っています。この取り組みの一つに「農業競争力強化プログラム」があります。

農業競争力強化プログラムに基づいて、農業者が資材の購入先や農産物の出荷先を選択できる環境や、農業に関する最新の研究成果を簡単に検索できるウェブサイト「まるみえアグリ」を開設しました。

まるみえアグリの一つである「アグリサーチャー」は、最新の研究成果の情報を手に入れることができるサイトです。調べたい分野についてカテゴリーから絞り込むことや、フリーワードで検索することができます。また、研究者の連絡先や市民講座などのイベント情報等も、手に入れることができるようです。

ミールキット

食材とレシピがセットになったアイテムを「ミールキット」といいます。調理に必要な材料が必要な分量だけ入っていて、野菜を切ったり、炒めたりなど簡単な作業を行うことで調理ができます。ミールキットは、食材の宅配会社やコンビニエンスストア、大手ショッピングセンターなどが提供しています。仕事や家事・育児などで忙しい

主婦や高齢者世帯等の利用が多く、短時間で調理ができることやメニュー数が豊富なので献立に悩まなくてもよくなることなど、ミールキットを利用すると様々なメリットがあるようです。また、魚の内臓を取ったり三枚におろしたりといった下ごしらえをしなくても良いので、料理が苦手な人にも好評です。ただ、値段が高額であることや賞味期限が短いことなど、デメリットもあるようです。